

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年2月12日
【四半期会計期間】	第37期第3四半期（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）
【会社名】	株式会社アルゴグラフィックス
【英訳名】	ARGO GRAPHICS Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役 会長執行役員（CEO） 藤澤 義磨
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2018
【事務連絡者氏名】	取締役 常務執行役員 管理本部長 長谷部 邦雄
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町5番14号
【電話番号】	03（5641）2018
【事務連絡者氏名】	取締役 常務執行役員 管理本部長 長谷部 邦雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第36期 第3四半期 連結累計期間	第37期 第3四半期 連結累計期間	第36期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2020年4月1日 至 2020年12月31日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (第3四半期連結会計期間) (千円)	35,327,461 (11,176,001)	30,347,041 (9,240,049)	48,192,120
経常利益 (千円)	5,022,125	4,103,627	6,562,467
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (第3四半期連結会計期間) (千円)	3,275,982 (1,044,682)	2,673,087 (709,367)	4,214,225
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	4,251,826	3,713,454	4,344,099
純資産額 (千円)	32,237,089	34,601,259	32,329,362
総資産額 (千円)	45,978,378	47,546,717	48,274,695
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (第3四半期連結会計期間) (円)	153.41 (48.92)	125.17 (33.22)	197.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	153.41	125.17	197.34
自己資本比率 (%)	66.5	69.0	63.4

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、算定上の基礎となる期中平均株式数から控除する自己株式数に、「株式給付信託(J-ESOP)」及び「株式給付信託(BBT)」制度の信託口が所有する当社株式を含めております。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの急拡大に伴い発出された緊急事態宣言が解除された後、社会経済活動も徐々に緩和されてまいりました。しかし昨年12月以降、感染者数の急増によりGoToキャンペーンの一時停止が決まるなど、経済活動への制限が再び強まりつつあります。

このような状況下、当社グループでは各社においてそれぞれの特長をいかした事業戦略を推進しながら、グループ間の連携も促進することで事業基盤の一層の強化とビジネスの拡大に取り組んでまいりましたが、第2四半期に引き続き一部お客様における事業環境の変化に伴う案件決定時期の先延ばし、また、一部開発元及び機器購入先における納入遅れが生じました。

その結果として、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は30,347百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は3,910百万円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、2,673百万円（同18.4%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

PLM事業につきましては、自動車関連ビジネスにおいてサービス保守関連支出の一時凍結・削減、IT投資計画の先送り等の影響があったことから、外部顧客への売上高が29,002百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は3,831百万円（同17.9%減）となりました。連結子会社である㈱ジーダットが中心となって行うEDA事業につきましては、国内におけるデバイス設計需要低迷の影響を受け、外部顧客への売上高が1,344百万円（前年同期比2.4%減）、セグメント利益は78百万円（同7.0%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計及び負債純資産合計は、以下の要因により、前連結会計年度末に比べ727百万円減少し、47,546百万円となりました。

(資産)

流動資産は、現金及び預金が213百万円減少、受取手形及び売掛金が1,995百万円減少、電子記録債権が279百万円増加、リース投資資産が217百万円減少、有価証券が15百万円減少、商品が53百万円減少、仕掛品が71百万円増加、その他が70百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末比2,213百万円減の33,084百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が16百万円減少、無形固定資産が260百万円減少、投資その他の資産のうち、投資有価証券が1,904百万円増加、その他が141百万円減少したことにより、前連結会計年度末比1,485百万円増の14,462百万円となりました。

(負債)

流動負債は、買掛金が2,129百万円減少、未払法人税等が1,070百万円減少、賞与引当金が298百万円減少、役員賞与引当金が62百万円減少、その他が68百万円減少したことにより、前連結会計年度末比3,630百万円減の8,945百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債が118百万円増加、株式給付引当金が8百万円増加、その他が500百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比630百万円増の4,000百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末比2,999百万円減の12,945百万円となりました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が1,259百万円増加、その他有価証券評価差額金が1,024百万円増加、退職給付に係る調整累計額が26百万円増加、為替換算調整勘定が114百万円減少、非支配株主持分が74百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末比2,271百万円増の34,601百万円となりました。

#### (3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は216百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	85,440,000
計	85,440,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2021年2月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	22,354,000	22,354,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株でありま す。
計	22,354,000	22,354,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年10月1日～ 2020年12月31日	-	22,354,000	-	1,873,136	-	1,980,536

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 598,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,751,200	217,512	-
単元未満株式	普通株式 3,900	-	一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	22,354,000	-	-
総株主の議決権	-	217,512	-

(注) 株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)が所有する当社株式397,800株(議決権の数3,978個)につきましては、「完全議決権株式(その他)」に含めて表示しております。

【自己株式等】

2020年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(株)アルゴグラフィックス	東京都中央区日本橋 箱崎町5-14	598,900	-	598,900	2.68
計	-	598,900	-	598,900	2.68

(注) 株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)が所有する当社株式397,800株につきましては、上記自己株式等に含まれておりませんが、四半期連結財務諸表においては自己株式として処理しております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第64条第4項及び第83条の2第3項により、四半期連結会計期間に係る四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書を作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年10月1日から2020年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,581,121	21,367,681
受取手形及び売掛金	9,199,416	7,204,084
電子記録債権	976,280	1,256,275
リース投資資産	759,097	541,934
有価証券	18,866	3,342
商品	1,078,563	1,024,876
仕掛品	26,443	98,186
原材料及び貯蔵品	2,132	2,967
その他	1,655,707	1,585,186
流動資産合計	35,297,629	33,084,535
固定資産		
有形固定資産	218,722	202,163
無形固定資産		
のれん	913,071	660,303
その他	47,741	39,905
無形固定資産合計	960,813	700,208
投資その他の資産		
投資有価証券	10,883,010	12,787,229
その他	914,519	772,579
投資その他の資産合計	11,797,529	13,559,809
固定資産合計	12,977,065	14,462,181
資産合計	48,274,695	47,546,717
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,382,475	5,252,926
未払法人税等	1,268,900	198,209
賞与引当金	606,262	307,777
役員賞与引当金	110,000	47,500
その他	3,207,736	3,138,796
流動負債合計	12,575,374	8,945,209
固定負債		
退職給付に係る負債	2,838,879	2,957,663
株式給付引当金	213,789	222,729
役員株式給付引当金	82,349	83,956
その他	234,939	735,897
固定負債合計	3,369,958	4,000,247
負債合計	15,945,333	12,945,457
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,873,136	1,873,136
資本剰余金	2,117,347	2,117,656
利益剰余金	24,543,512	25,802,521
自己株式	689,412	688,143
株主資本合計	27,844,583	29,105,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,859,342	3,884,008
退職給付に係る調整累計額	68,625	42,034
為替換算調整勘定	41,588	156,038
その他の包括利益累計額合計	2,749,129	3,685,935
新株予約権	208	147
非支配株主持分	1,735,440	1,810,006
純資産合計	32,329,362	34,601,259
負債純資産合計	48,274,695	47,546,717



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	35,327,461	30,347,041
売上原価	25,971,333	21,908,058
売上総利益	9,356,128	8,438,983
販売費及び一般管理費合計	4,606,960	4,528,959
営業利益	4,749,168	3,910,023
営業外収益		
受取利息	29,737	25,123
受取配当金	141,546	168,001
持分法による投資利益	59,518	-
デリバティブ評価益	23,458	-
投資事業組合運用益	-	1,773
その他	21,044	24,119
営業外収益合計	275,305	219,017
営業外費用		
持分法による投資損失	-	10,213
デリバティブ評価損	-	11,666
投資事業組合運用損	341	-
その他	2,006	3,534
営業外費用合計	2,348	25,413
経常利益	5,022,125	4,103,627
特別損失		
投資有価証券評価損	-	72,888
関係会社株式売却損	12,925	-
特別損失合計	12,925	72,888
税金等調整前四半期純利益	5,009,199	4,030,738
法人税、住民税及び事業税	1,414,564	1,036,124
法人税等調整額	152,915	189,640
法人税等合計	1,567,479	1,225,765
四半期純利益	3,441,720	2,804,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	165,738	131,885
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,275,982	2,673,087

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	11,176,001	9,240,049
売上原価	8,165,911	6,755,021
売上総利益	3,010,089	2,485,027
販売費及び一般管理費合計	1,566,246	1,492,437
営業利益	1,443,843	992,590
営業外収益		
受取利息	10,195	7,666
受取配当金	71,361	62,521
持分法による投資利益	6,804	-
デリバティブ評価益	22,831	-
その他	15,291	1,380
営業外収益合計	126,484	71,568
営業外費用		
持分法による投資損失	-	11,965
デリバティブ評価損	-	10,634
その他	67	5,191
営業外費用合計	67	27,792
経常利益	1,570,259	1,036,366
特別損失		
関係会社株式売却損	12,925	-
特別損失合計	12,925	-
税金等調整前四半期純利益	1,557,333	1,036,366
法人税、住民税及び事業税	444,975	185,781
法人税等調整額	45,129	115,014
法人税等合計	490,104	300,796
四半期純利益	1,067,229	735,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,546	26,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,044,682	709,367

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,441,720	2,804,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	755,011	1,024,665
為替換算調整勘定	42,894	137,737
退職給付に係る調整額	26,688	26,590
持分法適用会社に対する持分相当額	14,488	5,037
その他の包括利益合計	810,106	908,481
四半期包括利益	4,251,826	3,713,454
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,077,721	3,612,879
非支配株主に係る四半期包括利益	174,105	100,575

## 【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	1,067,229	735,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	563,400	113,302
為替換算調整勘定	14,358	71,637
退職給付に係る調整額	8,895	8,895
持分法適用会社に対する持分相当額	7,653	3,987
その他の包括利益合計	579,000	54,549
四半期包括利益	1,646,230	790,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,621,602	781,369
非支配株主に係る四半期包括利益	24,627	8,749

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

関連会社の金融機関からの借入金に対して行っている債務保証は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
D&A Technology Co.,Ltd.	30,086 千円	29,836 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	48,026 千円	43,234 千円
のれんの償却額	210,515	208,856

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月20日 定時株主総会	普通株式	543,879	50	2019年3月31日	2019年6月21日	利益剰余金
2019年10月23日 取締役会	普通株式	543,878	25	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金

- (注) 1 2019年6月20日定時株主総会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金10,040千円を含めて記載しております。
- 2 2019年10月23日取締役会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金9,985千円を含めて記載しております。
- 3 当社は2019年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月20日定時株主総会決議による1株当たり配当額は当該株式分割前、2019年10月23日取締役会決議による1株当たり配当額は当該株式分割後の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月18日 定時株主総会	普通株式	761,426	35	2020年3月31日	2020年6月19日	利益剰余金
2020年10月19日 取締役会	普通株式	652,651	30	2020年9月30日	2020年12月4日	利益剰余金

- (注) 1 2020年6月18日定時株主総会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金13,979千円を含めて記載しております。
- 2 2020年10月19日取締役会決議による配当金支払額の総額には、株式給付信託(J-ESOP)及び株式給付信託(BBT)の信託財産として日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式に対する配当金11,982千円を含めて記載しております。
- 3 当社は2019年4月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。上記は当該株式分割後の配当額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,949,045	1,378,416	35,327,461	-	35,327,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,134	5,696	8,831	8,831	-
計	33,952,179	1,384,113	35,336,292	8,831	35,327,461
セグメント利益	4,665,132	84,036	4,749,168	-	4,749,168

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額(注)
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,002,285	1,344,755	30,347,041	-	30,347,041
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,220	2,277	4,497	4,497	-
計	29,004,505	1,347,033	30,351,539	4,497	30,347,041
セグメント利益	3,831,904	78,118	3,910,023	-	3,910,023

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

前第3四半期連結会計期間（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,737,216	438,784	11,176,001	-	11,176,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	1,897	1,897	1,897	-
計	10,737,216	440,682	11,177,898	1,897	11,176,001
セグメント利益	1,436,222	7,620	1,443,843	-	1,443,843

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結会計期間（自 2020年10月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額	四半期 連結損益計算書 計上額（注）
	PLM事業	EDA事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,810,883	429,166	9,240,049	-	9,240,049
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	2,000	2,000	2,000	-
計	8,810,883	431,166	9,242,049	2,000	9,240,049
セグメント利益	989,365	3,225	992,590	-	992,590

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 ( 自 2019年 4 月 1 日 至 2019年12月31日 )	当第 3 四半期連結累計期間 ( 自 2020年 4 月 1 日 至 2020年12月31日 )
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額	153円41銭	125円17銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 ( 千円 )	3,275,982	2,673,087
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 ( 千円 )	3,275,982	2,673,087
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	21,354,934	21,355,824
( 2 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	153円41銭	125円17銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 ( 千円 )	8	10
普通株式増加数 ( 株 )	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

	前第 3 四半期連結会計期間 ( 自 2019年10月 1 日 至 2019年12月31日 )	当第 3 四半期連結会計期間 ( 自 2020年10月 1 日 至 2020年12月31日 )
( 1 ) 1 株当たり四半期純利益金額	48円92銭	33円22銭
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 ( 千円 )	1,044,682	709,367
普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額 ( 千円 )	1,044,682	709,367
普通株式の期中平均株式数 ( 株 )	21,355,673	21,356,179
( 2 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	48円92銭	-
( 算定上の基礎 )		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 ( 千円 )	1	-
普通株式増加数 ( 株 )	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

- ( 注 ) 1 株式給付信託 ( J-ESOP ) 及び株式給付信託 ( BBT ) が所有する当社株式を、1 株当たり四半期純利益及び潜在  
株式調整後 1 株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており  
ます ( 前第 3 四半期連結累計期間400,178株、当第 3 四半期連結累計期間399,222株、前第 3 四半期連結会計期  
間399,400株、当第 3 四半期連結会計期間398,867株 ) 。
- 2 当第 3 四半期連結会計期間の潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、連結子会社である株  
ジーダットにおいて新株予約権を発行しており、潜在株式が存在するものの、同社は 1 株当たり四半期純損失  
となるため記載しておりません。

2 【その他】

2020年10月19日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- ( イ ) 配当金の総額.....652百万円  
( ロ ) 1 株当たりの金額.....30円00銭  
( ハ ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2020年12月 4 日

( 注 ) 2020年 9 月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いました。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2021年2月12日

株式会社アルゴグラフィックス

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 芝田 雅也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 菊池 寛康 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アルゴグラフィックスの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年10月1日から2020年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アルゴグラフィックス及び連結子会社の2020年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。